

みずほCustomer Desk Report 2022/02/01 号 (As of 2022/01/31)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	115.44
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	115.27	1.1153	128.58	1.3402	0.6994
SYD-NY High	115.59	1.1248	129.36	1.3460	0.7076
SYD-NY Low	114.92	1.1139	128.55	1.3389	0.6986
NY 5:00 PM	115.16	1.1236	129.34	1.3445	0.7070
NY DOW	35,131.86	406.39	日本2年債	-0.0500	1.00bp
NASDAQ	14,239.88	469.31	日本10年債	0.1700	1.00bp
S&P	4,515.55	83.70	米国2年債	1.1837	1.34bp
日経平均	27,001.98	284.64	米国5年債	1.6136	▲0.65bp
TOPIX	1,895.93	19.04	米国10年債	1.7829	0.54bp
シカゴ日経先物	27,330.00	635.00	独10年債	0.0115	6.10bp
ロンドンFT	7,464.37	▲ 1.70	英10年債	1.3035	6.20bp
DAX	15,471.20	152.25	豪10年債	1.9120	▲3.90bp
ハンセン指数	23,802.26	252.18	USDJPY 1M Vol	5.90	▲0.20%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	6.33	0.02%
NY金	1,796.40	9.80	USDJPY 6M Vol	6.60	0.04%
WTI	88.15	1.33	USDJPY 1M 25RR	-0.70	Yen Call Over
CRB指数	255.115	2.27	EURJPY 3M Vol	7.24	▲0.01%
ドルインデックス	96.54	▲ 0.73	EURJPY 6M Vol	7.39	▲0.01%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月31日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	12月 -1.0%/2.7%	-0.6%/2.9%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	4Q 0.3%/4.6%	0.4%/4.6%
	22:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	1月 0.4%/4.9%	-0.2%/4.4%

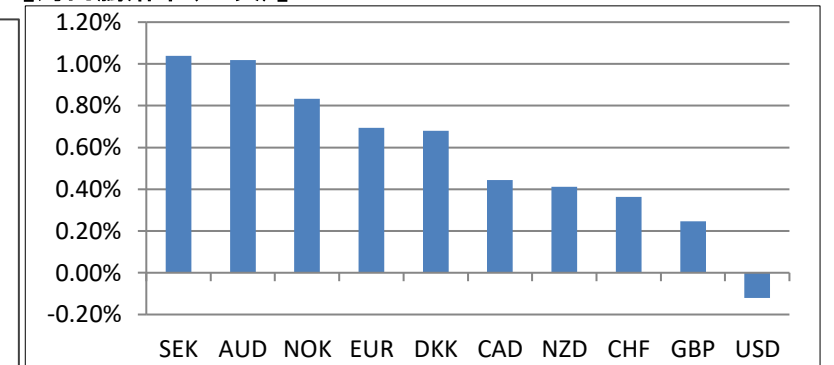
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月1日	08:30	日 失業率/有効求人倍率	12月 2.8%/1.16	2.8%/1.15
	09:30	豪 小売売上高(前月比)	12月 -2.0%	7.3%
	12:30	豪 RBAキャッシュレート	1-Feb 0.1%	0.1%
	17:55	独 マークイット製造業PMI・確報	1月 60.5	60.5
	19:00	欧 失業率	12月 7.1%	7.2%
	23:45	米 マークイット製造業PMI・確報	1月 55	55
2月2日	00:00	米 建設支出(前月比)	12月 0.6%	0.4%
	00:00	米 ISM製造業景況指数	1月 57.5	58.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.60-115.60	1.1180-1.1280	128.80-129.80

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は終盤にかけて下落する展開。日中は月末のドル実需もあり、115円台で堅調に推移。海外時間に入ると、独CPIが強い数字となったことで対ユーロでドル売りが進んだことや、月末のポジション調整とみられるドル売りも入り、ドル円は一時114.92まで下落した。その後はドルの買戻しも入って、115.16でクローズ。
 本日のドル円は底堅い推移を予想。昨日114円台では押し目買いも入り、米FRBの金融引き締め観測でドルが買われやすい展開は、本日も続きそうだ。3月FOMCでの0.5%利上げ可能性も一部で想定されるなか、先週不安定な値動きとなった株価動向には引き続き注意。本日のイベント・経済指標については、豪中銀政策会合、米1月ISM製造業景況指数が注目される。

東京	東京時間のドル円は115.27レベルでオープン。マイナスで寄り付いた日経平均株価が反発に転じる中、ドル円は115.59まで上昇。しかしその後日経平均株価が伸び悩むとドル円も上値重い値動きとなり、結局115.49レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は115.49レベルでオープンし、目新しい材料が見られないなか、閑散とした値動き。約15銭のレンジで横ばいし、115.45レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ホスチック・アトランタ連銀総裁が必要あれば50bpの利上げの可能性もあることを発言したことから、海外市場で115.59まで戻したドル円は、115.45レベルでNYオープン。朝方は、月末のリバランスが意識される中、独1月CPI(速報値)が強かったことからECBの年内利上げ期待が強まったことや、Fedの5回の利上げは行き過ぎとの見方にドル売り、ユーロ買いが強まる展開にドル円は115.24まで下落する。その後シカゴ1月PMIが予想を上回ったこともありややドル円は買い戻されるが、11時のロンドンフィックスを通過すると更に売りが強まり115.17まで下落する。その後やや買い戻されるが米金利が低下する中ドル円は上値を切り下げ、114.92まで下落する。その後は金利低下を受けて株式市場が上昇する動きにクロス円の買いが強まり、ドル円は下値をサポートされ、115.16レベルでクローズした。一方、ユーロドルは、年末のリバランスが意識される中、28日に発表された欧州1月CPIが強かったことからECB年内利上げの思惑が強まったこともあり1.1182まで戻し、1.1157レベルでNYオープン。朝方は独CPIが予想を上回ったこともあり、海外市場の流れを引き継ぎ1.1199まで上昇する。その後もロンドンフィックスに掛けて買いが強まり、1.1218まで戻す。午後はドル売りが継続する中、1.1248まで戻し1.1236レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山岸・木村